



林 声



OKAYAMA

お か や ま

No.336 . 1997 . 11 . 1



早島町 ふれあいの森公園

目 次

| | | | |
|----------------|---|--------------|-------|
| 事業の紹介 | 2 | “樹” | 6 |
| 普及最新情報 | 3 | 林研だより | 7 |
| シリーズ森林公園 | 4 | お知らせ | 8 ~ 9 |
| 普及指導最前線 | 5 | 林産物市況等 | 10 |

“おかやまの 未来をひらく 農林漁業”

岡山県 農林漁業活力向上運動

事業の紹介

治山事業について

治山事業は、山地に起因する災害から県民の生命財産を保全し、また、水資源のかん養、生活環境の保全形成等、公益的機能の向上を目的とした森林の維持造成事業です。

主な治山事業には

ア 山地治山

治山事業の核となる事業で、復旧治山、予防治山を主体に山腹崩壊地や浸食、堆積の著しい溪流において、土留工、植栽工、治山ダム工等により山腹地盤の安定、溪流の安全な維持を図る事業

イ 防災林造林

海岸での飛砂、なだれ、山火事跡地での土砂の流出等を防止するため森林を造成する事業

ウ 保安林整備

山火事や松くい虫被害など、森林所有者に責任のない

原因で機能が失われた保安林を健全な森林に回復させるための植栽や、治山事業施行地の森林の良好な成長を促進するための保育を行う事業

エ 保安林管理道整備

治山事業を計画的かつ効率的に行うとともに、その後の保安林の維持管理にも利用できる道路を開設改良する事業

オ 防災対策総合治山

山地災害危険地の集中した地域等で、数か年かけて計画的に治山ダムや森林整備を組み合わせる総合的に実施する事業

カ 水源地域整備

水源地域等において、森林の水資源のかん養機能の高度発揮と良好な水質の保全のため森林整備を主体に治山ダム等を組み合わせて行う事業

キ 環境保全保安林整備

森林による生活環境・自然

環境の保全・創出を図るため保安林の防災機能をより高度に発揮させるとともに保健林・養機能等をも持った森林に整備する事業

ク 地すべり防止

地すべり防止区域内での地すべり防止工事を行う事業などがあります

なお具体的な事業は細かく区分され、採択条件も色々と規定されていますので、詳細は市町村役場、振興局の森林課、治山課へお問い合わせください。

県ではこれらの事業を計画的に実施し、山地災害の未然防止、安全で住みよい県土の確保・定住条件の整備を行っています。

また、近年県南部で発生した大規模山火事跡地の緑化等にも努めています。

このように、治山事業はそれぞれの地域にあった方法で、山の緑を守り育てることによってその防災機能を最大限に発揮させることを目標としている地球

にやさしい事業ですので、実施に当たっては御理解と御協力をお願いします。

(治山課治山係)



山火事跡地の緑化と防火帯



貯水型治山ダムと緑化工

林業税制の改正について

林業を取りまく厳しい経営環境の緩和措置として、このたび税制の改正が行われたので、その概要を紹介いたします。

一、山林所得の概算経費控除の経費率（現行四〇％）を四五％に引き上げ（所得税）

目的

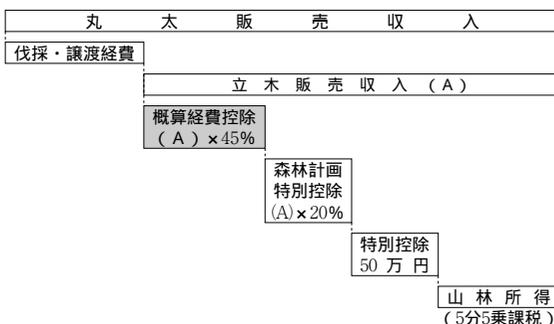
木材価格の下落、育林経費の増大等により採算性が著しく悪化しており、林家の経営意欲が減退している。このため、木材価格の下落に合わせ、概算経費率を引き上げる。

特例の内容

個人が一五年前の十二月三十一日以前から所有していた山林を、伐採または譲渡した場合において、山林所得の総収入金額（伐採搬出経費を除く）の四五％を概算経費として計上することができる。

（図 1 参照）

図1 制度の仕組み



二、山林所得に係る森林計画特別控除の適用期限の延長（所得税）

目的

森林施業計画に基づき、計画的な施業を行う場合、伐採時期等が制約されることから、これによって生じる不利益を軽減する。

特例の内容

森林施業計画に基づき山林を伐採または譲渡した場合、山林所得の総収入金額（伐採搬出経費を除く）の二〇％を森林計画特別控除として控除することができる。（現行どおり）

三、植林費の損金算入制度の適用期限の延長及び損金算入率（現行二五％）を三〇％に引き上げ（法人税）

目的

労働力の減少、育林経費の増大等により、著しく低下した森林所有者の再造林に対する意欲を向上させ、森林計画制度に基づく合理的、計画的な経営を推進する。

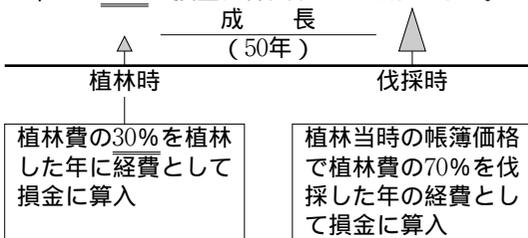
特例の内容

森林施業計画に基づいて、造林するために支出した費用（地拵費・植栽費・苗木代・補植費）についてその三〇％を損金に算入することができる。（図 2 参照）

（林業専門技術員 芦田素廣）

図2 制度の仕組み

森林施業計画に基づいて造林するために支出した植林費（地拵費、植栽費、種苗費、補植費）について、その30％を損金に算入することができる。



シリーズ森林公園 4

「都会のオアシス」 早島町ふれあいの森公園

早島町ふれあいの森公園は、平成元年度からの二年間で倉敷地方振興局森林課が「多目的保安林総合整備事業」により整備したもので、コンベックス岡山の西に位置する「知る人ぞ知る」森林公園の穴場です。

オープンには平成三年で、総合流通センターや住宅に囲まれ、まさに「都会のオアシス」です。

入り口がちよつと分かりにくいのが難点ですが、手軽に行ける森林公園として多くの人に親しまれています。

約十一ヘクタールの森林の中には、延長三・四キロの遊歩道を始め、トリムコース（子供用アスレチック）や野外ステージ、キャンプ場（七、八月のみ）に研修施設などの設備が充実し、初心者向けの手近な自然観察コースとしてはもってこいと言えます。

早朝には近所の人々が散歩を



野外ステージ



トリムコース

楽しみ 休日には家族連れをはじめたくさんの方が訪れています。春はポカポカした日差しの中でお弁当を広げ、夏はお手軽デイクャンプ、秋は紅葉を見ながら散歩を楽しむことができます。

交通の便も良い都市近郊型のこの森林公園に、コンベックス岡山やマスカットスタジアムにお出での際はちよつと立ち寄ってみてください。

【施設概要】

キャンプ場

炊事棟 二棟（十口）

野外テーブル 十棟

野外ステージ・研修棟

遊歩道・トリムコース

【利用料金等】

キャンプ施設

貸テント（一泊）

二千円／一張

持込テント（一泊）

千五百円／一張台座使用

千円／一張台座無し

炊事棟

二千円／一日

野外ステージ

五千円／一日

研修室

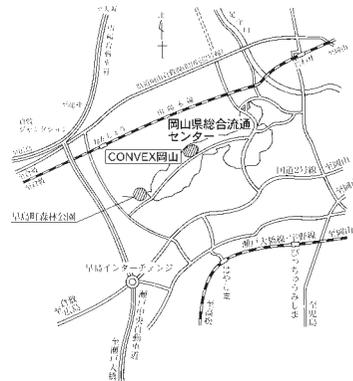
三千円／一日

【問い合わせ先】

早島町産業課

（〇八六四）八二〇六一

（倉敷普及指導区 Ag 木村昌生）



普及指導最前線

もくもくまつりの開催について

一 はじめに

森林の大切さ、緑の効用、森林の多様な公益的機能を広くPRし、木材の良さと山の幸を見直し地域林産物の需要拡大と林業の振興による活力向上を図ることを目的に、「もくもくまつり」が開催されました。

「もくもくまつり」は新見木青会が主催、阿新地方振興局、阿新管内五市町、阿新地区森林組合長協議会、大阪営林局森林技術センター、阿新管内林研グループ、新見商工会議所、近隣木工工房の後援により毎年実施されているもので、本年は九月一四日(日)に第八回のもくもくまつりが新見市高尾の昭和町公園で行われました。

当日は、台風襲来の直前であり、時折小雨の降るあいにくの天気だったにもかかわらず、約五百名の参加がありました。その内容をお知らせします。

二 まつりの内容について

丸太切り競争

スギ丸太をいかに早く伐るかを競うもので、大人の部と子供の部があります。

丸太トライウッドレース

トライアスロンレースにちなんで名付けられた競技で、木製のポールを使って木製のピンを倒すボーリング・丸太ぶら下がり・丸太引きの三競技に体力や器用性を競うもので、大人の部子供の部とも男性、女性別に行われました。

特に丸太ぶら下がりには体力が必要で、参加者は顔を真っ赤にして体力の限界まで挑戦していました。木工教室

スギ板を用い思い思いに



制作でき、作品は持ち帰ることができるので、大変好評であり子供からお年寄りまで、終日賑わっていました。

ログハウスの組立実演

会場で手慣れた手つきでログを組み立てた後、完成したログハウス上からもちまきが行われました。

なお、このログハウスはもくもくまつりの一環として開催された阿新地域の小学生を対象に木、森、山を

テーマにした絵画コンクールで最優秀に輝いた児童の在籍する哲西町立野馳小学校に寄贈されました。

丸太ベンチの製作実演

地元ログビルダー西川氏により、丸太をチェンソーを使用して半割にし、かなな作業もチェンソーで行うその鮮やかな手つきに多くの人が見入っていました。その他

木材の良さをアピールするビデオや木製品の展示販売なども行われ一日中賑わいました。昼食時には、女性林研による手作りうどんや山菜おこわのコーナーもあり大変好評でした。

三 終わりに

この行事は第八回を迎え、すっかり地域の行事として定着した感があります。

開催前の問い合わせも多く、この行事を楽しむにしている人が多いことがうかがえます。

地域の若手である製材業者の組織によって主催されていることにも意義があり、今後とも指導区としては、継続されるよう指導していきたいと考えております。

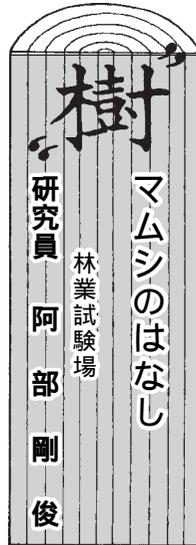
(阿新普及指導区Ag近藤和夫)

「あつゝ毒へびに咬まれ…」
Aは咬み傷近くをナイフで少し切ると毒を吸い出した。ハンカチを引き裂き腕をしぼる。「これで少しは毒のまわりをおさえられる…」昔の冒険小説で読んだようなワンシーンです。

私も仕事で山へ出かけますが、注意している動物の一つにへびがあります。特にマムシには注意して、草むらに入る時は出来るだけ厚い長靴を履くようにしています。今回はこのマムシについて少し紹介してみよう。

マムシはご存知のとおり、三角形の頭、太短い体、背中の銭形模様などが特徴のクサリへビ科の毒蛇です。正式には「ニホンマムシ」といいます。出血毒という毒をもち、咬まれると痛み、十分以内に腫れ始めます。発熱・悪寒・吐き気などを伴って視力低下等の一過性の症状が現れます。重症の時はショックや急性腎不全で死ぬこともありませんが、病院で血清による治療を行えばまず大丈夫です。

以前ある森林組合の方と山へ



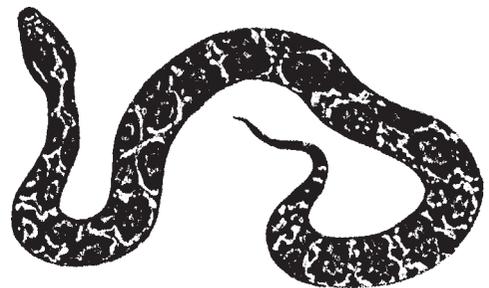
出かけたのですが、この方はいつも一歩前後の伸縮ポールを杖がわりに持って出かけていました。マムシには自衛の臨界距離（クリティカルディスタンス）というものがあり、だいたい五十歩前後です。これ以上近づかなければマムシの方から攻撃してくることはありません。この組合の方はいち早くマムシを見つけて安全な距離から先制攻撃しようというのです。でも、実際にマムシに出会うことはあま

りないようです。私もこの五年間に三度しか会ったことがありません。「転ばぬ先の…」ならぬ「咬まれる先の杖」ということでしょうか。

私自身マムシに咬まれたことはまだ無いのですが、もし咬まれたら冒頭のA氏のような処置はとりません。なぜなら咬み傷の近くを切ると毒をたくさん吸い出せるように思われますが、実際には毒はすぐに散って

しまつてほとんど吸い出せないからです。かえって破傷風などの細菌が入りやすくなつて危険なのです。私は気休めのため、切らないで吸い出すつもりです。また、ハンカチなどでしばつても毒のまわりにはあまり関係が無いようなのです。何もしなくてもよいのですが、私は心配性なので幅の広いタオルが何かで軽くしぼり、十分おきに一分くらい緩めるようにするつもりです。でもこれも気休めにすぎません。ついでに書くところまで冷やさない方が良さそうです。冷やすと毒による周辺の組織破戒が進むのです。とにかくマムシに咬まれたら、慌てず、騒がず、咬まれたところをなるべく動かさないようにして病院へ向かいます。大きな病院にはたいがい血清があるそうです。でも実際に咬まれたら慌てるでしょうね。

最後に、マムシを含めて本州のへびは益獣で、こちらから威嚇しなければ逃げていくおとなしい動物です。先の森林組合の方は仕事のフィールドなので殺すそうですが、ハイキングなどで出合つてもむやみに殺さないでください。



ニホンマムシ
「学研ポケット図鑑・動物」より

林研だより

「松くい虫被害の撲滅を目指して」

加茂川町円城地区赤松林を育てる会

会長 森山 保

岡山県の中央部に位置する加茂川町は、林野率七四%、そのうちアカマツ林の占める割合は三四%と重要な森林資源となっています。

その円城地区に赤松林を育てる会があります。当会はアカマツ林の健全な育成を図るとともに、まつたけ増殖に関する知識の習得による増産と振興に努め、会員相互の経済的安定を図ることを目的として昭和五



年に三〇名により結成されました。現在の会員数は高齢化等が原因で八名に減少しましたが、発足来の目的を達成するため、今も積極的に活動を行っていますので紹介します。

(1) 伐倒駆除の推進
近年、円城地区の周辺において松くい虫被害の激しい箇所があるため、住みよい地域づくりの一環として伐倒駆除等の自主防除を実施しており、平成八年度には、一三〇立方メートル実施しました。



(2) 樹種転換の推進

保全松林の周辺に被害が増えてきたことから、周辺対策としてアカマツ林からヒノキ林等への樹種転換を積極的に取り組んでおり、平成八年度には、七

実施しました。

(3) 空中散布の実施・協力

自主防除を含めた熱心な活動による働きかけを受けて、町が平成二年度から空中散布を一〇〇〇〇実施しています。実施にあたっては、危被害の防止対策・当日の立会など全面的に協力しています。

(4) 抵抗性マツ実証展示林の整備

県が実施しているマツノザイセンチュウに対して抵抗性のある「抵抗性マツ」の実証展示林整備事業については、当事業の趣旨に賛同し、円城財産区有林において平成七、一〇年度までの四年間に計一・二ヘクタールの展示林の整備をすすめています。

(5) まつたけ発生環境整備への取り組み

当初発足の目的でもあり、まつたけの増殖について、除間伐、林内清掃等の発生環境整備に意欲的に取り組んでいます。少人数ながら会長をはじめ全員が協力し意欲的に活動されており、今後も松くい虫被害からアカマツ林を守る中心的グループとしての活躍が期待されます。

(岡山普及指導区Ag野崎晋也)

お知らせ

「野生きのこ鑑定会」

開催される

平成九年十月四日（土）に、奥津町で同町ほか林業関係二団体による「野生きのこ鑑定会」が開催されました。

貴重な山の資源であるきのこを特用林産物として活用するとともに、地域住民相互の交流を深めることを目的とし、津山地域では初めての試みでありました。

当日は小雨の降るあいにくの天候にもかかわらず、約二〇〇人もの参加がありました。また、公募により集まった鑑定依頼者からの野生きのこは約八〇種・三〇〇点にもおよび、林業試験場の竹内専門研究員により鑑定されました。参加者らはその様子を熱心に見守り、きのこに対する関心の高さを感じました。

鑑定後には奥津町特産品開発研究会により用意されたきのこ料理の試食会や、奥津町で栽培

されているヤナギマツタケ等の販売も行われ、好評のうちに終わりました。

（苦津普及指導区 Ag 三枝道生）



きのこ鑑定会

「久米南きのこ祭り」

開催される

平成九年十月十八日（土）久米南美しい森において、久米南美しい森開園一周年記念「久米南きのこ祭り」（主催 久米南町）が開催されました。

主会場の野外音楽堂周辺では

ドングリゲームや川柳傘踊りなどのアトラクションのほか、きのこ弁当や特産品の販売、もりの妖精をモデルとしたフォトコンテストなど様々なイベントがあり、約一、五〇〇人が訪れて会場は活況を呈していました。

特に、地元龍山地区婦人会によるきのこ汁のサービスは好評で、大勢の人が立ち寄っては試食を楽しんでいました。

その他にも記念植樹、きのこ狩り、木工・竹細工教室が小学生など多数の参加を得て行われました。

記念植樹ではキャンプ場にザンカ三〇本、花の森にシラカシ・クヌギといったドングリ苗木や花木一、〇〇〇本が植栽され、記念標柱も設置されました。

また、きのこ狩りでは、会場内などで採集された約四〇種類のきのこが、林業試験場の竹内専門研究員による鑑定をうけて展示され、訪れた人の関心を集めていました。

この祭りが、今後より多くの

方が久米南美しい森を訪れるきっかけになればと考えております。

（久米普及指導区 Ag 鈴木理恵）



第三代「おかやま もりの妖精」の決定について

当協会が、募集していた第三代「おかやま もりの妖精」の選考会を八月二十九日に岡山市カルチャーホテルにおいて開催しました。

もりの妖精は、県が進めている「美しい森づくり運動」を推進し、森林・林業のPRを図ることを目的に、平成七年度から設置しているもので、第二代「おかやま もりの妖精」の活動期間が九月末をもって終了することから、今回募集を行っていたものです。

選考会当日は、第一次選考（書類審査）を合格した三十八



名が出席し、自己PRのほか、応募した動機などの面接選考に臨みました。

選考は、当協会の高宮会長をはじめ、岡山県山田農林部長、岡山県木材組合連合会中島会長ら七名の審査員により行われ、その結果、金出地恭子（かなでち きょうこ）さん、岡山市、西村京子（にしむら きょうこ）さん、玉野市、杉岡高子（すぎおか たかこ）さん、津山市の三名が新しい「もりの妖精」に選ばれました。

第三代「もりの妖精」の活動期間は十月から来年九月までの



左から金出地さん、西村さん、杉岡さん

一年間で、十月三日には活動開始にあたり石井県知事を表敬訪問し、知事から「健康に気をつけて、森林・林業のPRにがんばってください。」との激励の言葉をいただきました。

これまでの活動内容は、平成九年度岡山県緑化推進大会を皮切りに、七つのイベントに参加しており、森林・林業のPRに努めております。

これからも、積極的に活動を行ってまいりたいと思っておりますので、各地域で行われている「植樹のつどい」など各種イベントへの参加につきまして、皆様方の御支援と御協力をお願いいたします。

なお、イベント等への派遣要請など活動についてのお問い合わせは、林業改良普及協会事務局（県庁林政課内）及び各支部（各振興局森林課内）までお願いします。

「連絡先」
〒700 70

岡山市内山下2 4 6
岡山県林業改良普及協会
（県庁林政課内）

☎（086）224 2111
内線3304

林産物市況

製材 (10月下旬)

| 杉正角 3m | | | 桧正角 3m | | | 桧長柱 6m | | |
|--------|----|--------------|--------|----|--------------|-----------------|----|--------------|
| 寸法 | 等級 | 安値 - 高値 (千円) | 寸法 | 等級 | 安値 - 高値 (千円) | 寸法 | 等級 | 安値 - 高値 (千円) |
| 6.0 | 一等 | 25 - 28 | 6.0 | 一等 | 38 - 40 | 10.5 | 特等 | 100 - 105 |
| 7.5 | 一等 | 20 - 22 | 7.5 | 一等 | 33 - 35 | 12.0 | 特等 | 105 - 110 |
| 9.0 | 上一 | 18 - 20 | 9.0 | 上一 | 18 - 20 | " | 上小 | 120 - 150 |
| " | 一等 | 20 - 22 | " | 一等 | 25 - 28 | 13.5 | 特等 | 90 - 95 |
| 10.5 | 一等 | 35 - 40 | 10.5 | 一等 | 65 - 70 | " | 上小 | 100 - 120 |
| " | 特等 | 40 - 45 | " | 特等 | 75 - 80 | ラ ス 板 | | |
| " | 上小 | 60 - 70 | " | 上小 | 120 - 160 | 2m 1.2× 9.0 | | 23 - 26 |
| " | 無節 | 80 - 100 | " | 無節 | 200 - 230 | 3m 1.2× 9.0 | | 25 - 28 |
| 12.0 | 特等 | 35 - 43 | 12.0 | 特等 | 75 - 80 | 2m 1.5×10.5 | | 24 - 26 |
| " | 上小 | 60 - 65 | " | 上小 | 120 - 150 | 2m 0.9×24.0 | | 65 - 70 |
| " | 無節 | 70 - 80 | " | 無節 | 200 - 230 | 2m 1.5×21.0 | | 35 - 40 |
| 長サ 4m | | | 長サ 4m | | | 造 作 材 | | |
| 6.0 | 一等 | 28 - 30 | 6.0 | 一等 | 53 - 60 | 杉4m 3.0× 3.0 | 無節 | (本) 6 - 8 |
| 9.0 | 上一 | 20 - 23 | 9.0 | 上一 | 28 - 30 | 杉4m 4.0× 4.5 | 無節 | (本) 12 - 20 |
| " | 一等 | 28 - 30 | " | 一等 | 45 - 50 | 杉4m 4.5×10.5 | 無節 | 230 - 280 |
| 10.5 | 特等 | 45 - 50 | 10.5 | 特等 | 80 - 85 | 桧4m 4.5×10.5 | 上小 | 250 - 280 |
| 12.0 | 特等 | 40 - 42 | 12.0 | 特等 | 70 - 80 | 桧4m 4.5×10.5 | 無節 | 280 - 330 |

木 材 (10月下旬)

| 長さ | 径 (cm) | 杉 (千円) | 桧 (千円) | 松 (千円) |
|----|---------|--------|--------|--------|
| 3m | 7 - 10 | 14 | 19 | - |
| | 11 - 13 | 18 | 18 | 6 |
| | 14 - 16 | 24 | 36 | 8 |
| | 18上 | 20 | 34 | 10 |
| 4m | 7 - 10 | - | 19 | - |
| | 11 - 13 | 14 | 19 | - |
| | 14 - 16 | 17 | 35 | 12 |
| | 18上 | 17 | 33 | 13 |
| 6m | 14 - 16 | - | 57 | - |
| | 18 - 20 | - | 45 | - |

乾しいたけ (10月中旬)

| 名柄別 | 価格 kg当り (百円) | |
|---------|--------------|-----|
| | 安 値 | 高 値 |
| 香 信 大 葉 | 32 | 73 |
| " 中 葉 | 19 | 73 |
| " 小 葉 | 18 | 64 |
| パ レ 大 葉 | 16 | 67 |
| " 中 葉 | 15 | 65 |
| ス ラ イ ス | 12 | 59 |
| 香 茹 | 45 | 83 |
| 上 冬 茹 | 51 | 83 |
| 並 " | 34 | 83 |
| 並 並 " | 19 | 68 |
| 小 玉 " | 8 | 49 |
| 格 外 品 | 4 | 43 |

編集後記

十一月ということ、今年
の林声の発行は、これが最終号と
なります。

まだ、一年を顧みるのは早過
ぎるかもしれませんが、私個人
としては、あれもできなかった
た、これもできなかったと反省
ばかりです。

皆さんにとって、今年ほどの
ような年だったでしょうか。
次回発行は、一月の発行予定
です。(A)